

森や木に触れ親しむ「やまがた木育」を進めます！



◎森林を守るさまざまな取り組み

本県は、森林が約67万haと県土面積の約7割を占め、全国一の面積を誇るブナの天然林（約15万ha）をはじめとする豊かな自然に恵まれています。そして、これらの「美しい豊かな森や自然」と「自然との共生の文化」というやまがたの宝を今日まで大切に守り育ててきました。

県では、地域で生産される木材や、きのこなどの地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活用し、雇用を拡大させ、地域全体の活性化につなげていく「やまがた森林ノミクス」を進めています。

併せて、県民参加の森づくりや森林・自然環境学習を通し、豊かなみどりを守り育てることの大切さを知ってもらう取り組みを行っています。このたび、これらの取り組みをさらに進めるため、「やまがた木育推進方針」を策定し、「やまがた木育」を進めることとしました。

◎「やまがた木育」とは

森や自然といったやまがたの宝を守り育てていくためには、森づくりや森林資源の活用を県民みんなが支え、推進していくことが必要です。そのために取り組む「やまがた木育」は、乳幼児からお年寄りまでの全ての世代で森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直す活動です。これにより、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かすことにつなげていきます。

「やまがた木育」に取り組むことにより、森や自然が持つ価値を再認識し、郷土に対する誇りと愛着の心を育みます。また、幼いころから森や自然に感謝できる豊かな心を大切にしていくことで、子どもの視野を広げ、地域を愛する気持ちの礎を築くことを目指します。

◎皆さん一緒に取り組みましょう！～「やまがた木育」で取り組む3つの活動～

- 触れる：** 森や木の良さを五感を使って体感して、森や木に対する興味と関心を育む活動
- 創る：** 植林体験などの森づくりの活動や、木を活用した工作の楽しさと木製品への愛着を育む活動
- 知る：** 森の働きや木材利用の意義など、科学的な視点も取り入れながら、深く森や木を学ぶ活動



- 世代間の交流や活動を通して人と人が関わることにより、さらに充実した内容にするともに、一人ひとりのこれまでの経験や、森や木に対する認識、理解度に合わせた活動となるよう進めていきます。
- 7月に講演会やワークショップを開催するほか、子どもの発達段階に応じた教材を作成し、学校などで活用するなど、やまがた緑環境税を活用して「やまがた木育」を普及させていきます。

▶問い合わせ ◎ みどり自然課 ☎023-630-2207

フル規格新幹線の早期実現を！



奥羽新幹線・羽越新幹線は、本県に新しい活力を呼び込み、将来にわたって発展していくために欠かせない重要な社会基盤です。



今こそ求められる『フル規格』

政府は、新幹線の路線を定めた基本計画を昭和47年と昭和48年に策定しており、両新幹線は、昭和48年の計画に位置づけられています。速達性・定時性・大量輸送性に優れたフル規格新幹線は、交流人口の拡大や地域産業の活性化に大きく貢献し、地方創生の基盤となるものです。

さらに、リダンダンシー（代替）機能の確保といった国土強靱化の推進や、インバウンド拡大による観光立国の実現などにも大きく貢献します。

本県の将来を担う若い世代のためにも、今こそ、早期実現に取り組む必要があります。

実現に向けた取り組み

本県では、平成28年に、オール山形の推進組織「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」を立ち上げました。昨年度までに、県内4地域全てで推進組織が立ち上がり、県全体が一丸となった活動として広がっています。

推進組織を中心に、期待される効果や実現に向けた取り組みについて県民の皆さんに理解と関心を深めてもらう「出前講座」や「シンポジウム」、政府への要望活動に加え、新たに、将来を担う若者などの運動参加を促す「地域ミーティング」に取り組めます。子や孫の世代に実現を目指すビッグプロジェクトに、皆さん一緒に取り組みましょう！

フル規格新幹線ってなに？ 山形新幹線と違うの？

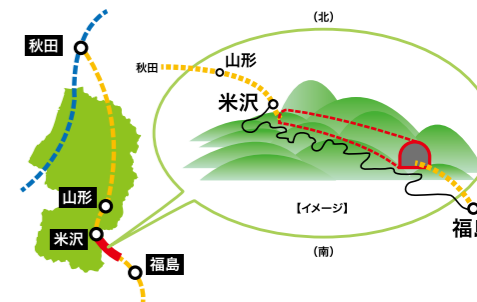
⇒200km/時以上で走り、踏切を設けない高架・立体交差や直線的なルートによる新幹線です。山形新幹線は、線路幅を広げて、新幹線と在来線を直通運転できるようにしたものです。車幅は狭いので、座席は横4席です。フル規格は横5列ですね。

フル規格新幹線の効果

| | | |
|---|---|--|
| 所要時間短縮 ●首都圏や沿線地域との時間距離の短縮 ●滞在時間の拡大 | 交流人口拡大 ●観光客の増大 ●ビジネスチャンス拡大 ●地域経済活性化 | 安全・安定輸送 ●風雨、雪などに強く優れた安全性 ●乗客の死亡事故ゼロ |
|---|---|--|

山形新幹線の福島～米沢間のトンネル整備構想

山形新幹線の運休・遅延が最も多く発生しているのが「福島～米沢間」です。JR東日本からは、この区間に全長約23kmのトンネルを整備する構想が示されています。県では、将来のフル規格新幹線実現の足がかりとして、トンネルの早期実現について、皆さんと一丸となって取り組んでいきたいと考えています。



▶問い合わせ ◎ 総合交通政策課 ☎023-630-2161